

至誠館大学

科目名	保育内容(言葉)			コード	1310		
英語表記	contents of child care and education (language)						
担当教員名	国広 勝代			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態		授業形式	演習	履修形態	必修		
授業概要							
言語能力を育てることは、教育の重要な課題であるが、特に乳幼児期は言葉を獲得する重要な時期であり、その発達課題への十分な認識をふまえた援助がなされなければならない。本演習では、保育所保育指針・幼稚園教育要領に示されている領域「言葉」の目標や内容の理解を深めるとともに、幼児期の豊かな「言葉」を育てるための教材について体験し、指導法を習得していく。							
到達目標							
子どもの発達を言葉の観点から捉え、子ども理解を深めながら保育内容・教材等について具体的に学ぶ。							
授業計画							
第1回	人間と言葉						
第2回	言葉の発達とかかわり						
第3回	言葉の障害						
第4回	言葉を育てる教材と指導の実際(絵本)						
第5回	言葉を育てる教材と指導の実際(素話)						
第6回	言葉を育てる教材と指導の実際(詩)						
第7回	言葉を育てる教材と指導の実際(紙芝居)						
第8回	言葉を育てる教材と指導の実際(指人形)						
第9回	言葉を育てる教材と指導の実際(ペープサート)						
第10回	言葉を育てる教材と指導の実際(パネルシアター)						
第11回	言葉を育てる教材と指導の実際(ことば遊び)						
第12回	言葉を育てる教材と指導の実際(手遊び)						
第13回	言葉を育てる教材と指導の実際(ほか)						
第14回	保育の中の言葉						
第15回	児童文化財を中心とした援助とかかわり						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
演習科目としては、積極的な授業参加を重視する。また、教材研究結果も同等に評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			0	20	50	0	30
授業外学習			テキスト、教材				
児童文化財に関する資料収集							
参考書			受講生へのメッセージ				
小田豊・芦田宏・門田理世編著『保育内容 言葉』北大路書房 大越和孝・高梨珪子・安見克夫・齊藤二三子著『言葉とふれあい』言葉育ての会東洋館出版社							
キーワード							
言葉 発達 教材 絵本 児童文化財							